

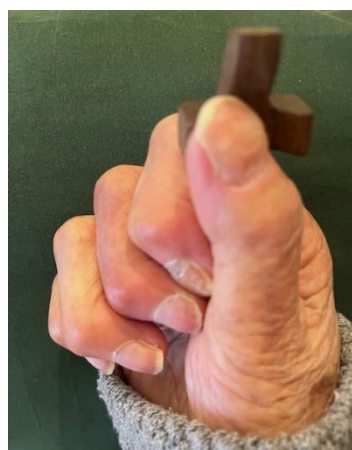
「イエス様のみ名によって！」

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄

皆さん、新年明けましておめでとうございます。二〇二五年も皆さまの歩みに上り、神様の祝福が豊かにありますように、お祈り申し上げます。今年もよろしくお祈りいたします。

一月一日は教会暦として「主イエス命名の日」です。「イエス」のヘブライ語の名前は「ヨシヤア」で「神は救いである」という意味です。「キリスト」はヘブライ語のメシア（油注がれた者）のギリシヤ語訳です。イエス・キリストというのは、「イエス」が名前ではなく「キリスト」が苗字ではない。「キリスト」であるイエス、または「イエスはキリストである」という意味です。すなわち、イエスをイエス・キリストと呼んでいること自体にイエスがキリストであるとの信仰告白が示されています。皆さんとイエスという名前について考える時、現在の世界の様々な状況の中において「神は救いである」というイエスの名前の意味を切実に感じる必要があります。イエスという名前の意味を切実に感じる事ができる営みの一つは祈りです。わたしたちはいつも「イエ

ス・キリストのみ名によってお祈りいたします。」と祈りをささげます。お祈りを終えるたびに、常に「イエス様のみ名によって」と祈りますが、イエス様に自分の願いを送って「送信完了（Enter）」という儀式ではありません。最後の「アーメン」を他の人々と合わせて唱えるための合図でもありません。一部の人々は、「やっ」と祈りが終わったか」という信号あるいは合図・記号だと考える場合もあり、さらには一つの呪文だと考えている人もいます。もしもありません。そうではありません。イエス様のみ名によって祈ります」というのは、祈りの単純なサビではありません。イエス様のみ名によって「とは、どのような意味なのでしょう。わたしたちがささげる祈りが自己実現の道具にならないように、神様とわたしたちとの仲介者であるイエス様のみ名を通して祈りをささげます。わたしたちの心、思い、考え、行い全てが神様のみどころに適いますように、と神様とわたしたちとの仲介者であるイエス様のみ



「二〇二四年御長寿を祝う感謝の集い」の際に教会からお送りした十字架を握って祈りをささげている信仰の先輩の方。

名を通して祈りをささげることなのです。わたしたちは、新しい年を迎えました。イエスと名付けられた神の御子は、その御名をわたしたちが呼ぶとき、イエス様がわたしたちと共にいてくださいます。イエスの御名によって願う時、み旨に合うものであれば必ず聞かれます。約束をしてくださっています。これがわたしたちに与えられた恵みです。これこそ、わたしたちに与えられた特権です。今年こそ、この特権が与えられていることを忘れることなく、つねにイエスの御名を呼びましょう。イエス様がわたしたちと共にいることに安住するだけでなく、イエス様と共にいようとするを切に願います。

初陪餐を受けて

小二パスカル吉原仁朗

はつばいさんのパンのあじをきいていただきましたが、ダンボールみたいなかたさで、おいしくなかったです。これがジーザスのからだだとちなのかとおもいました。

でも、はつばいさんをうけることができます。うれしかったです。

かみさま、きょうかいのみなさん、ありがとうございます。

小四ピオ吉原のぶきよ



絵の寄稿

「イエスさまのからだはパン。」

ちはぶどうしゅ

小一ルカやぎのぶひと

みんなのまえにたってはずかしかった。べんきょうになった。パンのあじはおもったのところがった。

アンデレバザー

二〇二四年アンデレチャリティ

バザーをふりかえって

実行委員長 ペテロ鈴木茂

二〇二四年度最初の教会委員会で今年度もチャリティコンサートとチャリティバザーの開催が決まりチャリティバザー実行委員会を立ち上げ、準備が始まりました。七月には、チャリティコンサートが行われ売上金から経費を引いた、利益二十四万円を能登の震災復興のために働くボランティア団体に献金させていただきました。九月第一週から仕分け値付け作業を開始、教会の大先輩の女性たちの素晴らしい働きによって仕分け値付け作業もとてもスムーズに行きました。前日の中庭のテント張は、ボウイスカウト、ガールスカウトの有志もお手伝い下さりスムーズ終了しました。去年は雨にたたられました。当日は過ごしやすかったです。朝から並んで下さった皆様に感謝します。チャティバザーは皆さまの献身的なお働きで、無事終える事ができました。チャリティバザーの売り上げは、NPO、NGO等に全て献金されました。小さくされた人々のために、教会が一つになって働くことが出来た事を深く感謝します。



「繋がり」

参加した一信徒 C. O. T

バザーとは、持ち寄られた品物に値段を付けて売るだけと思ってききました。今年、多分、仕事か、趣味とかで使われていたのではないかと思われる裁縫の品々、端切れ、糸、針、金属の型、型取りに使う道具、ミシンの付属品等々、百以上からあり、裁縫好きな方には喜ばれるかなと思われるものが寄せられました。一つ一つに値段を付けるのも難しく、揃うことでの価値もあるかと思ひ、値段を付けずに、欲しい方、価値のわかる方に値段を付けていただく方法を取ることにしました。全て揃って、とあれこれ集める方、良くできると作られた作品を手にする方、これが欲しかったと、同じようなものを集めて手にする方など皆さんいろいろでした。お気持ちでと言うと千円、五百円と出してくださいました。中に、沢山手にしていたのに十円には、少し心が折れそうにもなりましたが、大切に使用していたものなら、出品された方も喜ばれるかなと思ひながら受け止めておりました。どなたかが、大切に使用していた物を、買った方に受け継がれていくことを目の当たりにして、ある意味、バザーは人と人との繋がりなのかもしれないと改めて思う今年のバザーでした。

「アンデレ『チャリティ』バザーに参加して」

エリサベト倉又奈保子

一般社団法人「星の見える家」は父の遺志を継いで始めた奨学金給付の団体です。この度PRのために初参加させていただきました。初めは



コロナ禍の影響、働き手や献品の減少など問題点もあるとのことでしたが、当日が近づくにしたがって皆さんの勢い、手際、喜び、とにかくエネルギーがぐんぐん上昇していくではありませんか。つ、つよい!!! そのエネルギー源は何でしょう? アンデレバザーは楽しいものだと思います。伝統的な価値観もあると思います。でもそれだけでなく、バザーのために楽しんで働くことが弱く困難な立場に置かれた人たちを支えることになるという強い信頼がその根底にあるのではないのでしょうか。(なのに気が負いすぎないところもステキです。)

だからこそでしょう、新参者のわたしたちをとてカジュアルに受け入れてくださいました。カパティラのコーヒースタンドをお手伝いさせてもらいながらPR用ステッカーを販売し、多くの方が物心両面のサポートをくださったので胸が熱くなりました。

売り上げは全て教会に献金しましたが、その八倍もの寄付を頂戴しました。アンデレの伝統、皆さんの働き、喜び、すべてに感謝し励まされています。ありがとうございます。

聖アンデレ将来計画

第三回アンデレアワーが終わって

前庭ならびに西側崖地プロジェクト

リチャード倉辻明男

去る、十二月一日（降臨節第一主日）の聖餐式に引き続き第三回日のアンデレアワーが催されました。皆様のご承知のように、この「アンデレアワー」は、四月に着任された卓司祭の発案で始められた催しで、聖アンデレ教会の信徒の思いを一つにして一緒に進むべき方向を考える場として設けられました。まずは、最初のテーマとして、聖アンデレ教会が抱えてきた長年の課題である「西側がけ地」の問題を取り上げてきました。昨年度の検討の結果を踏まえた、複数の対策案について検証し、進むべき方向を考えていく場として四回の催しを計画、聖アンデレ教会が将来どのようにあるべきかと言う事も含めて既に二回開かれました。長年の課題であった崖地の問題に扉を開けてくれたのは、一級建築士で設計事務所も営まれている田口委員で、崖地そのものを様々な形で利用しながら解決して行こうという斬新なものでした。前々任の笹森先生の時代から何度かの説明会を行っていますのでその斬新なアイディアの数々も皆さんはご覧になった事があると思います。コロナ禍をはさんで二〇二三年には一歩進むべく西側崖地の地質調査が実施されて、今年二月の堅信受領者総会では、その結果が報告され、実施案も絞られてまいりました。その様な中で、六月の創立記念日に信徒説明会を開き二十三年度の地質調査の結果報告とプロジェクトで検討したいくつかのアイ

ディアの説明をさせて頂きました。創立記念日と言う事で高橋主教様も臨席され、更に隣の聖オルバン教会の方も参加された会となりました。より一層理解を深めていくために九月一日の第一回を皮切りに第二回と会を続けて今回の第三回もプロジェクトからの報告と堅信受領者総会へ向けての信徒の意見の集約の場として開かれました。すっかり、慣例となった聖歌四七〇番の斉唱と卓先生の祈りによって始まった第三回のアンデレアワーは、動画配信で参加された方も含めて六〇名ほどの方々が参加された。第一回、第二回は「西側崖地対策」について田口委員が主宰する田口設計事務所が取り纏め、現在の状況と取り得る可能性のある方法についていくつかの案を田口委員からお話し頂いた。第三回目は、これらを基に、今私たちが出来る可能性のある事をプロジェクトとして取りまとめた案をお話しさせて頂いたプロジェクトとしては、

- ・崖対策の実施とその方法については、切土で崖対策を行う（シヨウウホールの取り壊しを含む）
- ・将来、崖地に擁壁となる建築物を建てる事で、老朽化している牧師館（聖オルバン教会の牧師館も含む）、教会事務室の更新を計画する田口アイディアを具現化するための専門チームを立ち上げる。
- ・田口アイディアを具現化するため設計事務所との契約のための予算（発注支援業務）

の三本柱を骨子とした議案を堅信受領者総会に提出して教会としての一貫した方向性決めていきたい。と言う事をお話しした。一月二六日に第四回目のアンデレアワーを開催して

信徒の皆さんの理解をより深めながら、方向性を決定するため一緒に考えていきたいと思えます。そして二月の堅信受領者総会において、がけ地整備の方向性についての決議を取る予定です。皆様お誘いあわせのうえぜひご参加ください。

BSA叢書について

BSA叢書「福音書を読み解くキードワード」の発行について

日本聖徒アンデレ同胞会理事

リチャード倉辻明男

この十一月に二年近くの準備期間を経てBSA（日本聖徒アンデレ同胞会）の信徒叢書シリーズ二四、二五、二六、二七、の四冊が同時に発行されました。横浜教区を定年退職された相澤牧人司祭が「福音書を読み解くキードワード」を題して執筆された四冊の小冊子はBSA信徒叢書の伝統にないポケットに入れて持ち運べるサイズです。通勤、通学の合間にお読みいただく事ができます。福音書のみ言葉を読み解くための手助けとなると思っています。福音書を更に深く理解するためにも、是非お手元に置かれることをお勧めします。

この他にも、BSA信徒叢書には、現在二三シリーズ発行されています。全巻、B6よりも若干小ぶりなポケットブルサイズでキリスト教の歴史、聖公会の歴史、礼拝のこと、祈禱書のことなどを解りやすく学ぶことが出来ます。聖アンデレ教会の聖堂入り口の前室内に専用の書架があり全シリーズおかれています。執筆されている先生方の中には、今井丞治司祭、速水敏彦司祭、竹内謙太郎

司祭、加藤博通主教、市原信太郎司祭などの聖アンデレ教会と繋がりがある先生方のお名前もあります。ご自身のためだけでなく、洗礼を受けた方、またお友達や教会に初めていらした方、またお誕生日や様々な記念日のプレゼントなどに良いと思えます。信徒集会や勉強会のテキストにも最適です。

また、今年度（二〇二五年度）も新たな叢書の発行を準備しています。昨年一〇月にオンラインで開催されましたBSAセミナー。礼拝堂探検隊（講師：主教吉田雅人師日本聖公会東北教区退職主教）を基にしたシリーズになる予定です。

お申込み・お問い合わせは、
電話 〇三・三四三六・四三二五
FAX 〇三・三四三二・一六九六
E-mail: mail.bsa@nssk.org
HP: <http://brotherhood-st-andrew-japan.org/>



合同礼拝

聖オルバン教会との合同礼拝

マーガレット柳生恵

十一月二四日当日の司式は卓司祭、お説教はマイケル・モイヤー司祭が担当され、約百五十名の方たちが両教会から出席いたしました。愛餐会は私たちアンデレ教会が担当。ホットドッグ、焼きそば、ポテトサラダと食グループの活躍が光りました。「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び。」と詩編百三十三章一節にもありますが、言葉・文化・肌の色が異なる人々が神様の名の下に集まる光景は実に美しく、そして喜ばしいものでした。主に感謝



クリーンデー

「クリーンデー」について

総務担当 トマス三好忠彦

七月の教会委員会で卓司祭の発案により、当教会の聖堂・アンデレホール等の不用品を処理する「クリーンデー・十一月三日」の実施が決まった。全教会委員が賛成しプロセスを大切にしていくことになった。八月から三ヶ月の周知期間を設けて毎週の週報で呼び掛けを行い、信徒の皆さんからの意見を伺うことに。丁度バザーの準備期間に相当し、各活動グループに準備をしながら不用

品の仕分けを依頼。選別された物品の妥当性については最終的に教会委員会で確認することにした。

クリーンデー当日は、十三時から三時間程で、家一軒が引越しの際に出る荷物量位の物が、駐車場に山積みになる。又、廃棄物処分業者選定は総務の対応となり、藤波氏より産廃業者二社をご紹介頂く①株式会社ヨシモリ②山貞合名会社。もう一社③エコ・クリーンズは田口委員がネットで検索。以上三社の内一番安い所に発注。(発注はヨシモリ約三十六万円で十一月十四日に処理完了)。

処理当日は粉碎機能付きトラックで手際良く処理がなされ、一時間程で終了した。今回の不用品処理は、卓司祭が長年外からアンデレを見ていて、要らない物が溜まっていくのを確認されたことが幸いした。中に居る者は見慣れて気付かなくなることに、今後十分な注意が必要となる。



コイノニア

《洗礼》

《初陪餐》

《転会入籍》

《逝去》

霊魂の平安と、ご遺族への主の慰めを祈ります。



聖アンデレ教会
ホームページ



聖アンデレ教会
フェイスブック

インターネットやYouTubeなど
ご不明な点がございましたらご遠慮なく
教会までお問合せください

◇毎主日週報が発行されています。

教会ホームページでご覧いただけます。
FAX・郵送をご希望の方は事務所までご連絡ください。

◇牧会訪問、自宅や病床での陪餐、ご家族・少人数での礼拝や記念式への参加を希望される方は教会までご連絡ください。

◇教会への月約献金・感謝献金は郵便振替をご利用ください。

ゆうちょ銀行 00160-1-91168
日本聖公会 聖アンデレ教会

◇主日礼拝・平日の公禱をライブ配信しています。
教会HPからご覧になれます。

「今、福音に聴く—

マタイによる福音書の通読とメッセージ—」

2021年6月にスタートした「今、福音に聴く」は福音書を通して読み進めながら、各箇所メッセージを分かち合っていたいただき、「今」を生きる私たちの信仰の養い、道しるべとなればという思いで始まった企画です。

聖書朗読を聞き、あるいは読みながら、福音書が投げかけるメッセージを黙想し、日々の祈りのきっかけにしていただければ幸いです。

